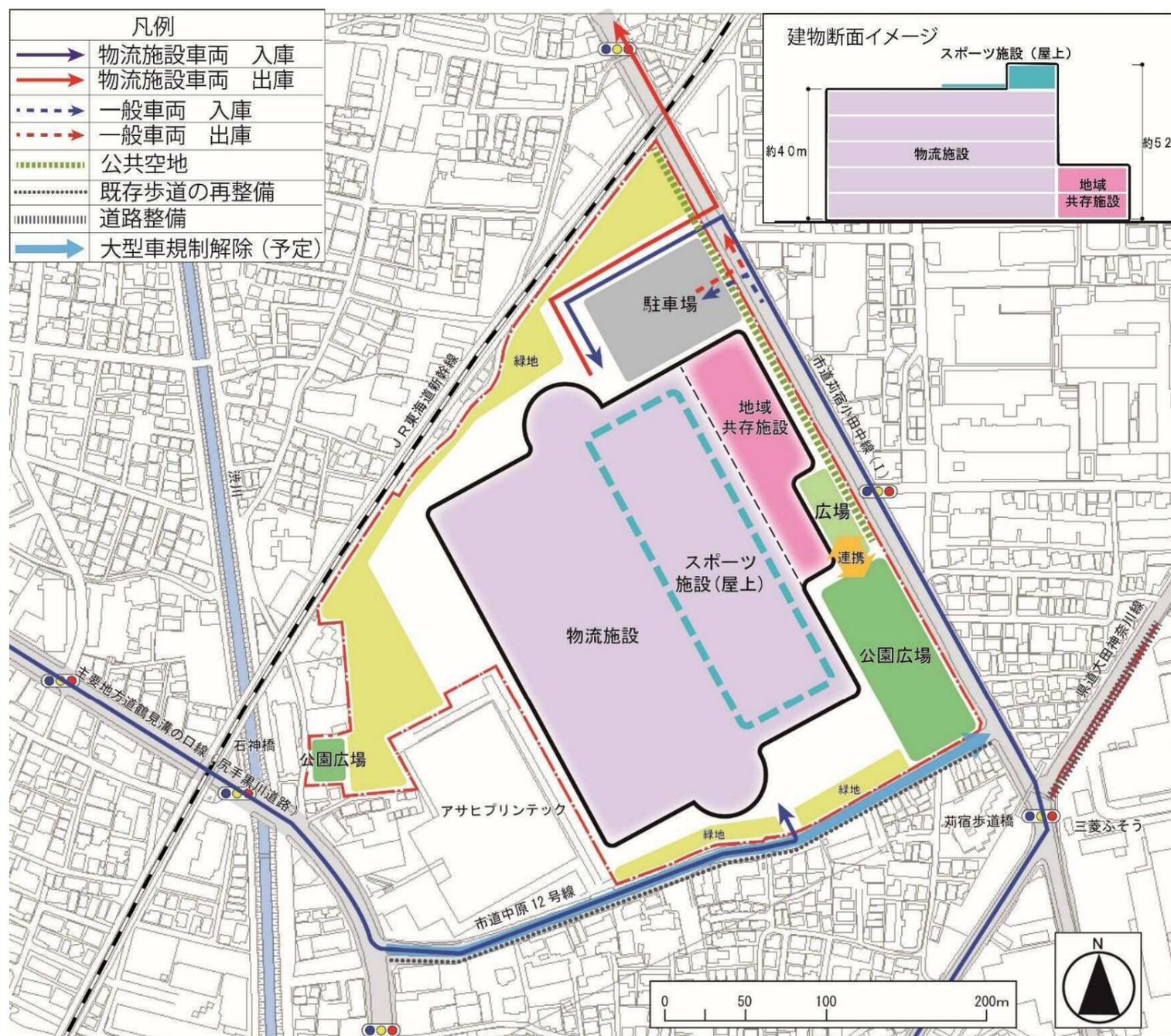


(仮称)西加瀬プロジェクトでは、川崎市が策定した「西加瀬地区における大規模工場跡地の土地利用誘導の基本的な考え方(平成31年3月)」を踏まえ、下記のコンセプトにより、地域と共存する土地利用を図っていきます。

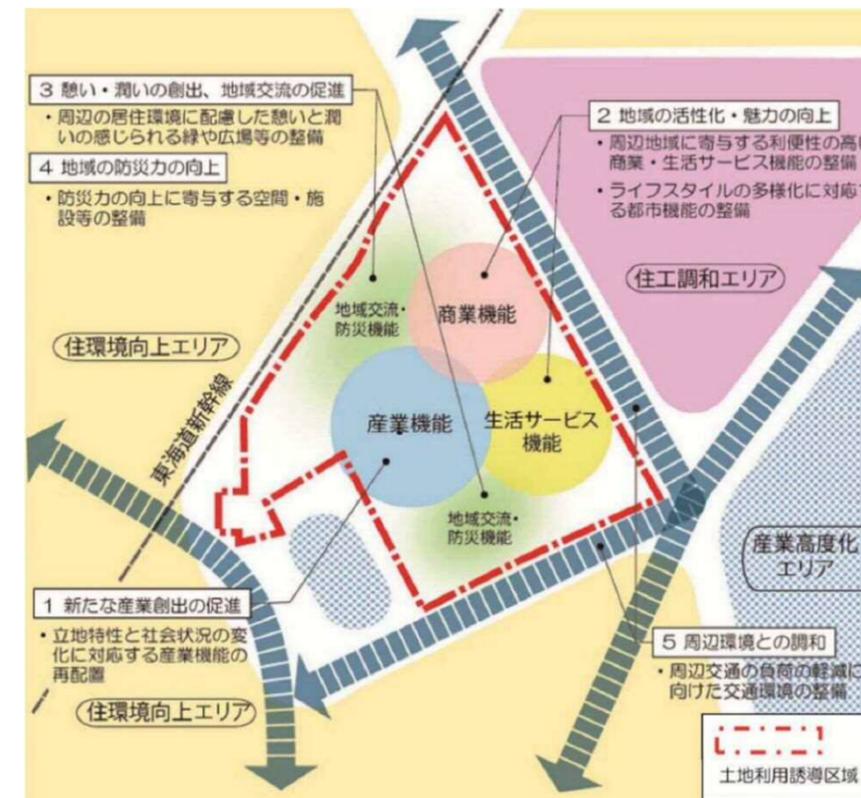
地域との共存を目指す物流施設の開発

地域に開かれた地域共存施設やスポーツ施設等を導入し、地域と共存する物流施設を整備します。

- ▶地域の活性化(雇用創出等)
- ▶地域交流の促進・地域の利便性や魅力の向上(地域共存施設、公園広場等、スポーツ施設の設置)
- ▶周辺環境との調和(交通・道路、景観・周辺住宅等への配慮)
- ▶防災性の向上(安心・安全なまちづくり)



注) 武蔵小杉特定目的会社：大和ハウス工業株式会社が設立した特定目的会社



出典：西加瀬地区における大規模工場跡地の土地利用誘導の基本的な考え方(川崎市策定)

<地域共存に関する取り組みについて>

◆ **地域交流、利便性・魅力向上に関する取組**

(地域共存施設)

- ・地域の利便性向上に資する店舗や生活サービス等の地域共存施設を整備

(公園広場等)

- ・地域共存施設と連携し、地域に開かれた魅力ある空間を形成
- ・潤いや憩いを感じられる公園広場等、緑地を整備

(スポーツ施設)

- ・市民間の交流(=コミュニティづくり)や健康促進に貢献するスポーツ施設を物流施設の屋上に配置

◆ **周辺環境との調和に関する取組**

(交通・道路への配慮)

- ・周辺交通への影響に配慮した物流施設車両ルートの設定と道路整備の実施
- ・市道荻宿小田中線(I)沿いで安全・快適に歩ける公共空気を敷地内に整備
- ・中原12号線は既存歩道を再整備(有効幅員2.0m以上を確保)

(景観・周辺住宅への配慮)

- ・地域に配慮した景観形成、騒音や環境負荷の少ない建物整備
- ・近隣住宅への配慮のため、建物の壁面を後退するとともに、緩衝帯となる緑地を整備

◆ **防災に関する取組**

- ・公園広場等は一時避難場所にもなるように、マンホールトイレ、かまどベンチ等の防災施設を設置